

アフリカ開発会議（TICAD）の「Japan Fair」にブース初出展

～アフリカ法務の現場に立つ弁護士がセッションに登壇～

TMI 総合法律事務所（東京都港区、代表：田中克郎、以下「TMI」）は、2025 年 8 月 20 日（水）から 3 日間、パシフィコ横浜で開催している第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）の併設イベント「TICAD Business Expo & Conference (Japan Fair)」にブースを初出展しました。初日には、アフリカで日本企業の法務支援に当たる平林拓人弁護士がセッションに登壇し、日本企業が進出する際の具体的な法的課題などについて意見を交わしました。



TMI は 2015 年に日本の法律事務所として初めてアフリカに拠点（ケニア現地デスク）を設置し、日本人弁護士を常駐させてリーガルサービスを提供しています。東アフリカ最大の法律事務所である Anjarwalla & Khanna LLP（A&K）と強固な連携のもと、アフリカの 30 カ国以上の案件を手掛けてきました。取り扱い案件の内容は現地法人・支店の設立や M&A、税務、労務など、企業活動に関連する幅広い法分野に及んでいます。

TICAD へのブース出展を通じて、より多くの日本企業のアフリカ進出や現地での事業活動を後押ししていきます。



■セッションの内容

1 日目には株式会社 Kasai&Company と Asia Africa Investment Consulting Nigeria Ltd、TMI の実務家 3 名が「10 年の現地経験で読み解くアフリカ進出ストーリー～弁護士・会計士・ファンドマネージャーが語る、フェーズ別実務～」をテーマにセッションしました。TMI からは平林拓人弁護士が登壇。会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

平林弁護士は「アフリカでは、どのリスクを取り、どのリスクは取らないのか適切に判断しながら、粘り強く法的課題を乗り越えていくことが重要」と、現地で長年リーガルサービスを提供してきた経験から指摘しました。



■TICAD 概要

1993 年から日本政府が主導し、国連と国連開発計画、世界銀行、アフリカ連合委員会と共同で開催しているアフリカの開発をテーマとした国際会議です。

9 回目の開催となる今回は、石破茂内閣総理大臣が共同議長を務めたほか、アフリカ 49 カ国の代表や日本の国会議員、民間企業や国際機関の代表らが出席しました。

TMI 総合法律事務所

TMI 総合法律事務所（東京都港区、代表：田中克郎）は、1990 年に創立され、国内業務と渉外業務の双方の領域で豊富な経験を積んだ弁護士 679 名、弁理士 101 名（2025 年 8 月 1 日時点）が在籍し、スタッフを含めると 1,300 名を超える日本最大級の法律事務所です。国内 7 か所、海外 19 か所に拠点（現地デスクを含む）を構えるグローバルファームとして、国内外で企業・団体・地域に密着したリーガルサービスを提供しています。法律事務所でありながら、自らベンチャーの設立や地方自治体とのデジタル化協定を締結するなど、創立以来、常に新しいチャレンジを続けてきました。今までにない新しい法律事務所や弁護士像・弁理士像を追求し、クライアントの幅広いニーズに対して即時にソリューションを提案できるチャレンジングな総合法律事務所を目指しています。

事務所 HP : <https://www.tmi.gr.jp/>

お問い合わせ

TMI 総合法律事務所 広報 担当弁護士：長田旬平（第一東京弁護士会）

Tel:03-6438-5356（直通） FAX：03-6438-5522 E-mail：PR@tmi.gr.jp